

# こがねっとレポート

2023.7.31 発行  
発行：小金井・生活者ネットワーク  
発行責任者：田頭祐子

no.151

小金井・生活者ネットワーク 検索

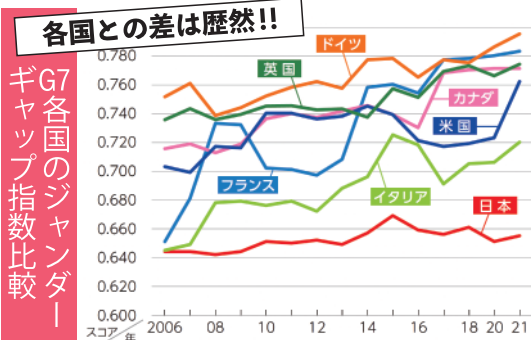
政治は  
あなたの暮らしを  
良くする道具です

日々の暮らしからの  
声と市政をつなぐ、  
あなたの声をお寄せください。

小金井・生活者ネットワーク

## 意思決定の場にもっと女性を!!

ジェンダー平等社会へ



全国フェミニスト議員連盟総会で左から安田けいこ小金井市議、小金井選出の漢人あきこ都議、生活者ネットワークの岩永やす代都議



東京・生活者ネットワーク 7/11 立川駅前でのフラワー遊説

日本のジェンダーギャップ指数が125位と過去最低になりました。女性衆議院議員は75年間でわずか6人しか増えていません。小金井市の議会や管理職の女性割合は？身近なところから考えてみましょう！

### 上位国と主な国のジェンダーギャップ指数

1	アイスランド	0.912
2	ノルウェー	0.879
3	フィンランド	0.863
4	ニュージーランド	0.856
5	スウェーデン	0.815
6	ドイツ	0.815
7	ニカラグア	0.811
8	ナミビア	0.802
9	リトアニア	0.800
10	ベルギー	0.796
11	アイルランド	0.795
12	ルワンダ	0.794
13	ラトビア	0.794
14	コスタリカ	0.793
15	英国	0.792
16	フィリピン	0.791
17	アルバニア	0.791
18	スペイン	0.791
19	モルドバ	0.788
20	南アフリカ	0.787
40	フランス	0.756
43	米国	0.748
105	韓国	0.680
107	中国	0.678
124	モルディブ	0.649
125	日本	0.647
126	ヨルダン	0.646
144	アルジェリア	0.573
145	チャド	0.570
146	アフガニスタン	0.405

ジェンダーギャップ指数 政治分野で過去最低 138位/146

世界の男女格差を数値化したジェンダーギャップ指数で日本の総合スコアは過去最低の125位、政治分野は世界最低クラスの138位でした。2000年以降、ジェンダー平等政策に力を入れてきた諸外国に抜かれ、年々順位を落としています。多様な性を認め合う社会へ世論は変化しつつあるものの、選択式夫婦別姓、同性婚、性教育、男女の賃金格差、性別役割分業などの問題が遅々として解決しないのは、男性である権力者が家長制による家族像を基本とした社会システムを維持してきたからではないでしょうか。まずは身近なところをジェンダー目線で見直し、地域でできることを考えたいと思います。

ジェンダーギャップ指数とは  
世界経済フォーラム(WEF)が「Global Gender Gap Report」(世界男女格差報告書)で毎年公表している、各国の男女格差を分野別(経済・教育・健康・政治)に数値化したもの。0から1で評価され、数値が1に近ければ男女格差が小さいことを示す

### 151号目次

意志決定の場にもっと女性を!	1-3 面
玉川上水の今(市民の目)	2-3 面
会計報告	3 面
意見書可決	4 面
大石芳野さん講演会	4 面



小金井・生活者ネットワーク  
〒184-0013  
小金井市前原町 3-40-1  
小金井スカイコーポラス 311-A  
tel/fax.042-387-1068

E-mail:koganei@seikatsusha.net  
HP http://koganei.seikatsusha.net

生活者ネットワークは、都内34の自治体があり、1人の都議会議員と39人の区・市議会議員を持つ地域政党です。「政治は生活を豊かにする道具」と考え、身近な問題を解決するために、政策をつくり、議会に提案しています。

### 生活者ネットワーク 3つのルール

- 1. 議員はローテーション**  
議員を職業化・特権化せず、交代しながら参加の輪を広げます。交代後は、地域の活動にその経験を活かします。
- 2. 議員報酬は市民の活動資金に**  
議員報酬は、調査活動や学習会など市民の活動資金として使います。お金の流れは、公開しています。
- 3. 選挙はカンパとボランティアで**  
選挙は政治に参加する入口です。カンパとボランティアで選挙を行います。

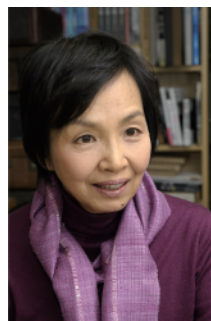


市議会議員 安田けいこ  
沖縄を再び戦場にしないために  
本土の私たちができること

沖縄で組織的戦争が終結したとされる6月23日の慰霊の日、小金井市議会は「国は沖縄県議会の意見書を重く受け止めて、中国との対話と外交に真剣に取り組みことを求める意見書」を賛成多数で可決しました。岸田政権は、周辺国の軍事的脅威に対し抑止力を高めるとして、沖縄を防衛の拠点として整備し軍事要塞化を進めています。沖縄戦では住民の4人に1人が命を落とし、未だ3,000柱もの遺骨が収集されないなど、戦後78年経っても癒される

ことはいまだ深い傷を負っています。新たな戦争準備のためのミサイル配備や弾薬庫の整備など、到底許されるものではありません。沖縄島、宮古島、石垣島、与那国島の各島住民から陳情が出され3月に沖縄県議会が可決した意見書で表明された、沖縄を再び戦場にしないしてほしいという切実な声を、私たち本土の間は受け流してはいけません。これからも沖縄に寄り添い軍拡にNOと言える小金井市であるために、市民の皆さんと取り組んでいきます。

日時 10月29日(日)  
14:00-16:00  
会場 小金井 宮地楽器ホール  
小ホール  
定員 150名  
参加費 1,000円(ユース500円、小学生以下無料)  
申込み メールにて  
koganei@seikatsusha.net  
お問合せ 042-387-1068  
主催 小金井・生活者ネットワーク平和部会



大石芳野 (おおいし・よしの)  
写真家。東京工芸大学芸術学部客員教授  
戦争後を見つめるドキュメンタリーを手がけ、ベトナム戦争の被害者や広島、長崎の被爆者、沖縄の人々への取材を続ける。ニューギニアなど人びとの暮らしに寄り添う作品にも定評がある。

講読カンパのお願い  
年に一度、年間1,000円の講読カンパのご協力をお願いしております。ご無理のない範囲でご支援いただければ嬉しく存じます。

※郵便振替は、同封の振替用紙か、下記の口座に。  
ゆうちょ銀行 0一九店(当座) 0110320  
※銀行振り込みは、下記の口座にお願いします。  
三井住友銀行 小金井支店(普通) 3416162  
●口座名: 小金井・生活者ネットワーク